

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2018年12月号（第122号）

発行責任者 佐藤 重松



第12期定期総会 2018.11.20 所沢市民文化センターミューズ管理棟5階にて

撮影 / 中島 峰生氏

ところざわ倶楽部第12期活動方針

アクティブシニアの更なる活躍の年にしましょう！
楽しく元気な活動で地域の「絆」を紡ぎましょう！

会長
佐藤 重松

創立12年目を迎えました。創立者14期の11歳加齢を頂点に、各期も入会時からそれぞれ齢を重ね、この2、3年退会者と入会者が拮抗状況にあります。80代となつても、会員の皆さんのが元気に一日でも長く活動に参加出来る、工夫のある運営を目指したいと思います。

この点を念頭において、5つの活動を具体的に実施・運営して参ります。

- 1) サークル活動への参加が多少困難となつても「広場」やHPに、ご自身の様々な経験や知識、想いを投稿していただくなどの参加を推奨します。また、身近な地域で参加できる「サロン」の起ち上げを進めます。
- 2) 全会員をつなぐ事業計画は、事業部を基軸に実行委員会を設け、創意工夫を重ね適宜進めます。
- 3) サークル相互のコラボ活動・交流を更に進め、相互に理解を深めたいと思います。また、市民大学2年次GW

メンバーとの交流と、サークル定例会への自由参加を呼びかけます。

- 4) 四半世紀を経た市民大学について、社会情勢の変化に対応すべく「市民大学のあり方」をOB三団体共通の課題として意見交換の場を設け、所管の教育委員会や生涯学習推進センターへ三団体統一の提言が出来ればと思います。その実現に向けて働きかけます。
- 5) 今期は、新しいサークルの起ち上げに努力する年にしたいと思います。

上記5点と各部（総務・事業・広報）の活動方針を、今総会に於いてご承認頂きました。理事会は、その達成に向けて努力します。加えて、会員の皆様のご協力が一番の力となりますので、倶楽部全体の事業運営に対し積極的にご参加頂きます様、重ねてお願い致します。

第 12 期定期総会報告

第 11 期総括、第 12 期活動方針を確認

総務部長 中原 幹男

11月20日（火）ミューズ管理棟5階にて定期総会開催

第12期は、会員総数255名でスタート。出席者95名で議事が進められました。

第 11 期総括

佐藤会長から11期総括を報告しました。倶楽部創立10年経過を機会に退会・解散するサークルがありました。会員の高齢化や減少につれ、役員・理事のなり手がいないことが理由でしたが、他のサークルにも内在する課題であり、倶楽部全体で知恵を出し合いたいと述べました。

サークルのエントリーが少なく発表会を中止せざるを得なかったこと、2年振りの文化祭の参加者と観客が少なかったことを今期の反省点としました。

11期退任理事へ感謝の拍手が送られ、12期の理事候補が拍手でもって承認されました。

第 12 期活動方針

佐藤会長から12期の活動方針として、5項目（1P下段参照）を示しました。各部の方針は、第12期定期総会資料をご覧ください。

全体の活動方針（案）
及び予算（案）につき満場一致で承認されました。



撮影/中島 峰生氏

総会終了後、懇親会が催され、同期でテーブルを囲み、にぎやかで和やかな雰囲気のうちに終了しました。

第 12 期 新体制

皆さまのご支援よろしくお願いします。

役職	氏名	推薦母体	役職	氏名	推薦母体
会長	佐藤 重松	理事会推薦	事業部担当理事	園田ヒロ子	食トコ
副会長兼総務部長	中原 幹男	地球環境に学ぶ	事業部担当理事	戸田チイ子	野老澤の歴史会
副会長兼広報部長	玉上 佳彦	理事会推薦	事業部担当理事	水上 俊彦	葵の会
副会長兼事業部長	森野 辰夫	理事会推薦	広報部担当理事	川上 紀春	生きいきシニア
広報部副部長	西郡 貢	理事会推薦	広報部担当理事	松尾 龍之	懐かしの映画
総務担当理事会計	岡崎 久子	所沢の自然と農業	広報部担当理事	方山みどり	ドラカン
総務部担当理事	石堂 智士	傍聴席	広報部担当理事	岩瀬 真弓	理事会推薦
総務部担当理事	大西 優	地域デビュー支援	広報部担当理事	大木美和子	理事会推薦
事業部担当理事	仲山 富夫	理事会推薦	連絡窓口	岩本 賢次	地域の自然
事業部担当理事	佐藤美津子	民話の会	連絡窓口	本橋 清子	脳活サークル
事業部担当理事	加藤 敏恭	樂悠クラブ	会計監査	田村健一郎	理事会推薦
事業部担当理事	小玉 正男	アジア研究会	会計監査	小野さとえ	理事会推薦

退任理事＜お疲れさまでした＞:(事業部担当理事)海老澤愛之助、高瀬成一、池上幹彦、松沢慎也

事業部活動方針(第12期)

事業部長 森野 辰夫

1. 活動方針

会員相互の「交流と親睦」を深めることを事業計画の柱とし、多くの会員の皆さんに 参加して頂ける企画を提案し進めてまいります。基本的には例年開催しているイベントを踏襲してまいりますが、会員の皆様が「ところざわ倶楽部」の存在価値をさらに見出せるような企画を立てられればと考えております。

昨年はサークルとの共催イベント(映画鑑賞、講演等)を開催し好評を博しました。今年度も市民大学の理念に基づき、会員の皆様の関心の高いテーマを選定し、各サークルの協力の得ながらシンポジウム等の開催も検討してまいります。また文化祭、サークル発表会につきましてはいろいろなご意見もあり、総会では貴重なご意見を承りました。それらのご意見を参考にして再検討してまいります。また他のテーマに付きましても、総会では余り時間が無く、多くの皆様のご意見を聴取させて戴くことは出来ませんでした。各理事、或いはホームページ等を通して、広く会員の皆様のご意見、ご提案をお待ちしております。皆様の御協力をお願い致します。

昨年提唱した身近なネットワークづくりも幾つかの地域では芽生え始めております。引き続き会員の皆様のご協力をお願い致します。

2. 活動計画

① 「新春の集い」 例年開催している「彩翔亭」が閉鎖中ですので、他の場所にて例年通り開催致します。 詳細は後日ご案内致します。

② 「講演会」 今、社会は排他的な考え方が広まり、世界でも、国内でも混乱を招いております。格差・環境・高齢化社会等問題が山積みです。このような時期・社会情勢にヒットするようなテーマを選定し開催したいと考えております。具体的なテーマがありましたら、ご提案下さい。

- ③ 「文芸講座」：会員・一般市民参加型の講座（有料） 文芸講座は例年好評であり今年度も開催する予定です。身近な馴染みの文学者でも講師の先生の多角的な見方から解説して頂く事により思ひぬ発見があります。ご期待下さい。
- ④ 「定期総会と懇親会」： 年度総括・会員の親睦
- ⑤ 「文化祭・サークル発表会」 活動方針でも述べさせて戴きましたが、いろいろなご意見があります。出演者、展示品出品者をはじめ会員の皆様のご意見を承り再検討致します。
- ⑥ 「シンポジウム」 身近な問題である環境、介護、戦争と平和（広場連続掲載）等のテーマによるパネルディスカッション、ミニ講演、映画観賞等の形式での開催を検討して参ります。
(一方的に拝聴する講演会だけでなく、会員相互の意見交換が持てるような場も検討致します)

第12期 事業計画案(開催時期及び概要)

予定時期	概要
1月	新春の集い
4月	講演会
7月	文芸講座（会員、一般対象）
11月	定期総会・懇親会
検討	文化祭・サークル発表会
検討	シンポジウム

* 上記活動計画につきましては、まだ新理事による理事会も開催しておりませんので、今後理事会、事業部会で皆様のご意見を参考にし、詳細を詰めて参ります。

広報部活動方針(第12期)

広報部長 玉上 佳彦

1. 活動方針

ところざわ俱楽部の理念である ①学習活動の継続 ②会員相互の親睦 ③学びを地域に活かす ④ネットワーク作りを念頭に、ところざわ俱楽部の広報媒体としての広報紙「広場」とホームページにて的確かつタイムリーな情報発信に注力する。

2. 編集体制の強化

①広報担当理事だけでなく、経験豊富な会員やフレッシュな編集メンバーの編集会議への参加により、編集体制の強化を図る。
②特に女性編集委員の増員により、全体の45%を占める女性会員が参加して、投稿しやすい紙面構成とシリーズを増強していく。

3. 広報紙「広場」

①ネット環境にない会員の方々向けに、HPに代わる情報媒体として発行を継続する。
②ところざわ俱楽部の歴史を物語る貴重な紙媒体を残しつつ、索引を作成して読者の利便性を図る。

4. ホームページ

①ネット時代に対応した最新の情報を速やかに提供する媒体として、さらなるコンテンツの充実を図る。

②会員のエッセイの投稿、サークル間のコラボレーション情報や会員個人の活動紹介などの「広場」紙面では掲載できない内容を表示できるようにする。

第12期 編集委員(15名)の紹介

氏名	担当
佐藤 重松	俱楽部会長／発行責任者
玉上 佳彦	広報部長・HP担当
西郡 貢	広報副部長・編集長
川上 紀春	広報部理事
松尾 龍之	広報部理事
方山 みどり	広報部理事
大木 美和子	広報部理事 新任
岩瀬 真弓	広報部理事 新任
稻村 洋二	企画編集担当
池田 新八郎	企画編集担当
松崎 晃	企画編集担当
八木 雅子	企画編集担当
新井 智子	企画編集担当
中原 幹男	総務部長 役員として参加
森野 辰夫	事業部長 役員として参加

ところざわ俱楽部のホームページ

画面構成と快適な利用法について(その1)

1. ところざわ俱楽部のホームページ(HP)は、独自のドメイン名 (<http://tokorozawoclub.com>) で運用しています。これは、大塚商会の有料サーバーを利用して、専用ドメインを取得しています。契約容量は 10GB (現在約 64MB を利用) ありますので、ページ本部や写真などを大量に掲載することができます。

2. HP のトップページは、以下の構成になっています。

①新着情報: HP は原則として毎週 1 回目曜日に更新しています。新着情報にはその週の最新掲載分を「NEW」というボタンで表しています。翌週には新着情報から「前週までの掲載履歴」ボックスに移動します。各情報が期限前の場合は「既報」のボタンで新着情報欄に表示しています。

②トップページの写真は、更新時に新しい会員による写真を掲載しています。

もし、前回のままでしたら、[F5] キーを押して更新して下さい。

③上部ボックスの「広報紙「広場」」は、広場の第1号(2007年12月号)からのバックナンバーをご覧いただけます。

④「掲示板」は、双方向で情報交換、意見交換できるコーナーですので、どなたでもご利用できます。



ところざわ俱楽部 HP トップ画面

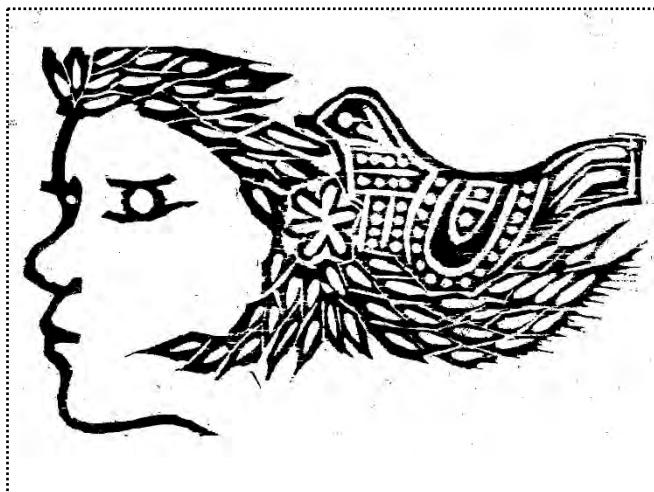
「戦争と平和！」 第6回

戦争と平和について思うこと

志村 喜八

私は1940年山形県の田舎生まれで、戦争のことはあまり肌で感じることはありませんでした。停電が多くそのためにランプをつけることが私の役でした。また食事は田舎でも米を食べることはなく、芋、大根、そして雑炊が多かったです。

戦争の恐ろしさを知ったのは、東京に集団就職し夜間高校に行ってからで、山岳部に入ってテントの中で政治談議などをしながら知ることが出来たと思います。それまでは、広島、長崎の原爆もよく知らずにいました。そして市民大学、ところざわ倶楽部サークルを通して議論し、より今日の社会や政治のあり方、戦争について考えるようになりました。



平和を象徴する鳩をイメージした
私の版画です。

最近特に感じることは、憲法9条を変えようとする動きがだんだん大きくなっていることです。9条には戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認などが明確に書かれています。何故変えようとするのでしょうか。自衛隊の活動を強化することが国を守ることになるのでしょうか。戦争はしない、やってはいけない。そのためには9条を積極的に活かして、多くの国と平和的な外交を進めることが重要と考えます。アメリカの抑止力に応えるという建前で、5兆円を超える膨大な税金を使って予算を組み、人を殺すための武器をアメリカから買っていきます。

日本は先の戦争で生活をズタズタにされただけではなく、多くの人の命を奪われたことを自民党の方は知らない訳はないと思いますが…。それでも憲法を変え、戦争への道へ突っ走ろうとすることに対して強い怒りを感じています。また自民党は、思想の自由を侵害する秘密保護法や共謀罪だけでなく、安保法制の強化、不平等な日米地位協定など自国民のことよりアメリカのことしか考えてないようでなりません。安保条約はアメリカ政府に通告することによって廃棄することが出来るのです。

自民党は口では国民の気持ちに寄り添うと言いながら、国民の声を無視する強権政治をすぐに止めて頂きたい。国民が望んでいない政治に對し、声を大にして「平和を守り、安心できる生活」を皆の力で築こうではありませんか。

サークル活動報告

さきたま古墳と渋沢栄一記念館

葵の会 竹内 寛

10月25日(木)、所沢駅東口を8時過ぎにバスで出発、行田市へ向かう。博物館は稻荷山古墳の出土品(全て国宝)を中心に展示、一番の目玉は金錯銘鉄剣で、鏽びないよう二重のガラスケース(内側に窒素ガスを充填)に入っていた。471年の作で、銘文に持ち主がワカタケル大王(雄略天皇)に仕えたとの記述がある。博物館見学後3名のガイドに連れて、古墳巡りをする。健脚組は丸墓山古墳、稻荷山古墳に登る。稻荷山古墳の天辺で埋葬施設の表示板を確認。よく盗掘されなかつたと感心する。将軍山古墳展示場では復元された埋葬施設を見た。エジプトだったらミイラが残っていたかも知れないとthought。

午後一番に忍城址にある行田市郷土博物館へ。城は15世紀後半、成田氏により沼地の上に築かれ、難攻不落を誇った。行田は古くから足袋産業が栄え、明治期のミシンや足袋の展示があった。

渋沢栄一記念館は深谷市にあり、関連施設の誠之堂・清風亭、尾高惇忠生家、中の家(なかんち)を

見学した。1か所20分、ガイド付きの強行軍で、渋沢栄一記念館へ着いたのは閉館15分前だった。尾高惇忠は渋沢栄一の10歳年上の従兄弟であり、学問の師である。ガイドの熱心な説明を聞いた後、裏庭へ行き煉瓦造りの立派な土蔵の内部を見せてもらった。

中の家は養蚕、藍玉づくりとその販売の他雑貨屋、質屋業も兼ね、大変裕福だった。



行田市郷土博物館

「喜ばれることによろこびを」

民話の会 仲山 富夫

所沢市牛沼小学校三年生の学習「ふるさとを知る」1時間の授業を担当することになりました。90名の生徒達との会話は「どうなることやら?」と心配でした。

前に、教頭先生から「よろしくお願ひします」と電話をいただきました。どうなることやらから「何とか頑張らねば!」と、9時に全員集合して、念入りに読み合せを行いました。



牛沼小学校三年生のみんな

45分の内容は所沢の民話「とんぼの宿り木」と「絵で見る昔のところざわの風景」でした。90名の三年生が体育館に入場してきました。民話の会のテーマソング「民話はみんなの宝物」を流しました。半袖の子、おかげの

子、小さい子大きい子と音楽に合わせての入場はなんともかわいらしい。5名の先生方は、どうなるのかと心配そうな顔でした。

いつもの通り、所沢の民話『とんぼの宿り木』「お~

い、おめえさんたち、ここへやべ~」と会員のやさしい語りで始まりました。我儘殿様は急にトンボが欲しくなって「村中にいるトンボを全部とつかまえてこい」と無理なことをいう。村人と子供らは「えらいことになつたなあ。この畠仕事の忙しい時期に…」全部捕まえたと思ったトンボが一匹、殿様の前を飛んでいました。癪癪(あざけ)の殿様は怒って、日月神社大明神に悪態をつきました。その後どうなつたかって?殿様は大明神にバチを受けました。

子供たちは初めて聞いたようでした。子供たちの真剣なまなざしに語り部の私たちも満足でした。

最後に、主任先生のことば「楽しかったですね。ふるさとを知る授業が三学期にあります。今日のことを思い出しながら勉強しましょう」先生たちも満足そうでしたよ。



にこやかな「民話の会」会員

時間(字数)になりました。おあとは楽しい授業風景をご覧ください。

サークル活動計画

1. 葵の会（水上 俊彦 2922-6420）
 12月14日(金) 10:00～12:00 中央公民館 6号室、
 及川道之先生講義古事記上巻第4回解説(6回シリーズ)
 (9月～2月)
 1月11日(金) 13:30～15:30 中央公民館上記5回目解説

2. アジア研究会（玉上 佳彦 090-2497-1076）
 12月19日(水)13:30～16:30 中央公民館
 定例会:トルコ情勢の報告会(続き)、来期打合せ、忘年会
 1月16日(水)13:30～ 中央公民館
 定例会:未定

3.活きいきシニア福祉の会(川上 紀春 090-5573-2548)
 12月26日(水) 13:00～15:00 DVD「不都合な真実2」
 鑑賞 生涯学習推進センター
 1月23日(水)10:00～12:00 定例会 生涯学習推進セ
 ンター

4. 楽悠クラブ（福田 晴男 事前連絡は不要です）
 12月11日(火) 例会 & 総会
 マスカーニ歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」1982 プレ
 一トル指揮ミラノ・スカラ座、ドミンゴ(T)、ゼッフィレッリ監督
 1月15日(火) 鑑賞演目未定
 いずれも 13:15～ 中央公民館 3階 8・9学習室

5. 食を通して所沢を知る会(園田 ヒロ子 090-4005-1882)
 12月4日(火) 10:00～12:00 ふらつと 定例会：
 2019年活動計画案・忘年会
 1月8日(火) 10:00～12:00 ふらつと 定例会

6. 地域の自然を考える会（岩本 賢次 2923-9324）
 12月21日(金) 15:00～ 小手指分館 定例のトロ12号
 地の手入れ作業はなしで、2018年の活動を総括する打合
 実施、終了後17時から忘年会を予定

7. 地球環境に学ぶ（中島 峰生 2928-1161）
 12月18日(火) 15:00～17:00 新所沢東公民館 研修室
 定例会:映写会検討、環境持寄り学習、後 忘年会
 1月15日(火) 9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
 定例会:環境持寄り学習、他*DVD「不都合な真実2」貸す

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会(田口 元也 090-9820-5668)
 12月12日(水) 13:15～15:00 中央公民館 定例会
 議題「市政ひよこ塾」企画案検討
 12月8日、22日(土) 13:00～17:00 生涯学習推進セン
 ター チアダンス練習日 参加・見学大歓迎

9. 所沢の自然と農業（稻村 洋二 2992-1751）
 12月11日(火) 陽子ファーム枯れ枝処理作業
 12月13日(木) 13:00 新所沢公民館 定例会
 12月18日(火) 柳瀬黄林閣散策路整備ボランティア
 1月5日(土) 陽子ファーム落ち葉掃き

興味のある活動に参加してみませんか？

10. 野老澤の歴史をたのしむ会（小川 雅愛 2907-9476）
 12月20日(木) 10:00～12:00 中央公民館 5号室
 年次定期総会 総会後 12:20～14:20 納会
 1月23日(水) 2019年第一回活動 料理講習を企画中、
 詳細は次号に記載します。

11. ドラマティック・カンパニー(高橋 信行 090-9393-6238)
 12月22日(土) 10:00～12:00 新所沢公民館学習室 2号
 シェイクスピア原作「オセロ」(ちくま文庫版)を読み進めます

12. 懐かしの映画・鑑賞会（二上 拓夫 080-1250-6151）
 12月11日(火) 10:00～12:30 西新井会館
 邦画「忠臣蔵」('61年) 東映オールスター総出演
 ⇒ 上映後 年末、年忘れ会食
 ⇒ 次回、H31年1月29日(火) 薩摩飾りのイベントあり！

13. 脳活サークル（加曾利 厚雄 2939-2308）
 12月3日(月) 10:00～14:00
 こどもと福祉の未来館・多目的室 3、4号室
 音楽療法士・佐井佳代子先生による歌声喫茶風で脳活
 そして、忘年会

14. 傍聴席（石堂 智士 2947-0835）
 12月17日(月) 14:00～16:30 新所沢東公民館 学習会
 「市会議員選挙アンケート調査」各自アンケート項目の提
 案を持ち寄り、全員協議にて検討。終了後忘年会実施。
 1月21日(月)「傍聴席の総会」予定

15. 民話の会（仲山 富夫 090-3902-0283）
 12月21日(金) 10:00～14:00
 こどもと福祉の未来館ボランティア室 1号 定例会
 30年度総括、次年度計画、「弘法の三つ井戸」読み合わせ
 1月15日 ひばり児童館で「民話お話会」

理事会報告

11月12日(月) 第11回理事会を開催
 ・会長兼事業部長、広報部長、総務部長より11期活動総括
 と会計報告の要点を説明
 ・新事業部長(候補)、広報部長より12期活動方針を説明
 ・総務部長より12期予算案を説明。12期総会の式次第、受
 付要領を説明。総会および懇親会出席見込み人数報告。
 以上につき各理事の了承を得ました。

同日午後、総会資料を各理事協力のもと印刷。
 夕刻、新旧理事懇親会を行いました。

12期第1回理事会 12月10日(月) 10:00～12:00
 生涯学習推進センター 多目的室

みんなの広場 第9回

野老澤の歴史をたのしむ会・
脳活サークル・アジア研究会

第三の人生

安田 好子

私は60歳で定年を迎えた後、人生を第三の人生と位置づけている。私が最期を迎えた時、ア～楽しかったなどと思える期間にしたいと定年以前から何をしたいか模索していた。留学を決めたがどの国に行こうか悩んだ結果中国の北京に決めた。最大の理由は漢字だから眺めていれば何となく理解できるのではと安易な考えだ。

最初の一年はお喋りの私が非常に無口になった。これではいけないとクラスメイトや先生方に生け花の指導をし、会話の機会をつくった。辞書を引き引きたどたどしい中国語を話し始めた。徐々に生活になれ交友関係も広がり周囲の状況も分かってくると、1DKのホテル代と同じ料金で3LDKの家が借りられることが分かり、早速引っ越しをした。外観は美しいが住んでみると不都合な個所が多々あった。結果10年で8回も引っ越しをした。引っ越し、生け花の指導等で知らず知らずのうちに会話が出来るようになった。自分の語学力をためす一人旅をした。中国人を始めアジアのクラスメイトの援助もあり10年間は夢のように過ぎた。

帰国してから今度は私が外国人に援助しなければと思いつい、日本に来る留学生の大学やアパートの保証人になってあげようと思ったが、年齢制限があり息子に頼んで保証人になってもらっている。また短期留学や、生け花の研修に自宅を提供している。政府間の関係が悪くても10年間培った絆は未だ壊れていない。

むさし野俳句会（三十年十一月）作品抄



桜紅葉枝渡る鶴けたたまし
薬湯の效能書きや冬隣
銀杏散る膝やはらかく歩みをり
チラシ入る朝刊重く冬近し
隙間風ものともせずに雑魚寝の子
朝寒や明るき女性専用車
鯉の背を撫でて餌やる小春かな
攻防の要の峠葛の花
冬隣こども食堂開店す
またしても大に絡まる牛膝

飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助
柏谷のぼる
高梨 白神 佐藤 小林 河瀬 俊彦
千代 恵子 八郎 典子 貞夫

故郷はコスマス咲かせ古墳祭
マンションの防火訓練冬隣
縁側の奥に射す日や冬隣
口上にのめる半身秋祭
突き出した枝に色あり返り花
南座は不夜城のごと時雨来る
女車夫の紺足袋きり秋高し
天辺に一つ残る実冬隣
雀どち庭に弾みて小春かな
冬隣日溜りに待つ門送り

高橋三加子
高光 泉
利根川啓一
中嶋 弘子
中村 直子
鈴木 荒幡 幸子
宮本 平栗 佐橋 信生 彰子
中島 峰生 選



《編集後記》

11月20日第12期ところざわ倶楽部総会も無事終了し、広報部も玉上部長を中心に、新メンバーで新しいスタートを切りました。新風を巻き起こしていきたいと心新たにしています。▼広場は発刊122号を数え、HPも第4期立ち上げて8年の歳月を刻みました。広場のバックナンバーを見ればわかりますが、広場がところざわ倶楽部の歴史を写し出しています。▼特に10年を過ぎ、人も変わり、組織も変わっていきます。会員の高齢化、一般の人の会員化、新サークルが生まれず、サークル数の減少、倶楽部の求心力等々問われている課題は数々あります。▼されど12年、ところざわ倶楽部は糸余曲折を乗り越え、会員の懇親の場であり、数少ない生涯学習の場であり続けました。平成は終わりを告げ来年は新しい元号になります。「継続は眞なり」、新時代に向け、転換期のところざわ倶楽部を盛り上げていきましょう。

(池田記)

課題 天学 川柳 〔三七〕 作品発表 中島 峰生 選

女医さんは難関突破今がある
大学と名の付くノートいまは死語
東大は記念受験笑う父母
女子大生良妻賢母は二の次に
シャンシャンもシンシン学金独り立ち
同窓会市民大学わが母校

「自由句」

風呂が沸く隣りも同じ機械音
寒いわね不思議仲良しハリネズミ
落ち葉焚き焼き芋ごとき夢となる
富仕えネクタイとると風邪をひく
おしゃべりが無口な人に笑われる
壤に及ぶ寒さか年暮れ
や 鼻 どう 突拍子
ぶ 髪 どう 海さとる
茶 し りんご 好き

次回（第38回）課題「晴れ」そして「自由句」、締切り日：12月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp FAX04-2928-1161

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)